

第 1 分科会

「経営ビジョン」

岩国支部

学校経営の柱は経営ビジョンにあり

第一分科会では次の二つの視点からの発表があった。

【視点①】 未来を見据えた明確な学校経営ビジョンの策定

発表者 熊本県 西原村立河原小学校 草場 ルミ子
【視点②】 学校経営ビジョンに基づく創意ある学校経営の推進

発表者 山口県 岩国市立玖珂小学校 大上 好久
まず、視点①では、発表者が「学校が地域コミュニティの中心となり地域のよさを取り戻しつつ、信頼関係を再構築することが喫緊の課題である。その解決には、未来を見据えた明確な学校経営ビジョンを策定し、子ども、教



職員、保護者、地域が同じ方向を向いて進んでいかなければならない。」と提案し、協議が進められた。その中で出されたことは、校長のリーダーシップは

とても重要であるが、大きな動きを作ろうとすれば教職員をうまく巻き込んでいく事が大切であり、課題でもあるということであった。各学校でコミュニティ・スクールの取組が進んでいるが、このことは全ての学校が抱えている課題だと思った。

次に視点②では、発表者が「自校の子どもや保護者、地域の実態を正確につかむことが重要である。次に、それぞれの地域の特性を生かし、学校がもつ強みを生かした学校経営ビジョンを策定し、その実現のために創意ある学校経営を推進していくことが重要である。」との提案があった。協議では、「地域の校長と連携し研究が進められている。」「ビジョン策定の手順の明確化、構造化における組織マネジメントの手法が導入されている。」等の意見が出された。協議を通じて、ビジョンの浸透度、達成度の効果的・効率的な測定法や学校経営ビジョンに対する教職員の参画意識の醸成法が課題としてあがってきた。

二つの視点で共通することは、教職員や保護者、地域にいかに関係が経営ビジョンを伝えるかが大きな課題でもあると同時に、それが学校経営の柱でもあるということである。第一分科会に参加して改めて学校経営について深く考えることができた。

(通津小学校 宮井信明)

全連小山口大会を通して

第 2 分科会

「組織・運営」

光市支部

学校経営ビジョンの具現化に向けて

本分科会の趣旨は、学校経営ビジョンの具現化を図る組織づくりと学校運営に取り組みするための、校長の果たすべき役割と指導性を究明していくことである。

発表①では、ビジョンの具現化に向けて組織づくりを行うには、その内容を明確かつ具体的に示し、組織の一員であることの自覚をもたせることが重要であること。また、そのために全市あげて、「安全・安心の学校づくり」「学力向上の取組」「地域とともにある学校づくり」「いじめ問題への対応」等について取組が報告された。グループ協議では、「学校教育目標に係るキーワードの提示」「平時はボトムアップ、有事はトップダウンによる風通しのよい組織づくり」「組織力を高めるための人材育成」等について熱心な議論が交わされた。

発表②では、ビジョンの具現をめざして、学校運営を推進するためには、その重要性を教職員に認識させ、学校運営の担い手としての自覚と意欲をも

たせることが何より大切である。そのために、全市で取り組む「一校一和文化学習」について、「アンケート調査の結果と考察」「各校の取組の様子」「今後の方向性」等の報告があった。グループ協議では、「地域の伝統や文化を守り、学校が地域を語る場」であることのすばらしさが、多くのグループで話題となった。教職員が毎年入れ代わる中で取組を無理なく継続していくためには、「教職員の意欲の醸成」や「指導者・発信の場・資金の確保」等が重要で、そこに校長の役割と指導性が必要であることが確認された。



- 活力ある組織づくり
- ①重点目標は児童にも分かる言葉
- ②経験の浅い教職員を育てる視点が重要
- ③地域とのかかわりを考慮しながら行うこと
- 学校運営
- ①地域の活力を学校に取り込むこと
- ②教職員の成長を促すための教育課程の工夫

以上、校長の役割であるということが共通理解された。

(三井小学校 池田昌士)